

(別添4)

【茨城県常総市】

1人1台端末の利活用に係る計画

常総市（以下「本市」という。）では、令和2年度末までに、市内全ての小中学校で、児童生徒1人1台端末や高速・大容量の校内通信ネットワークの整備、クラウドサービスの積極的な活用など、新たな時代に対応する教育ICT環境が実現することとなりました。

その環境を有効的に活用し、全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために次のとおり定めます。

1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市の教育大綱の中で、地域の未来を担う子どもたちの「確かな学力」と「健やかな身体」と「豊かな心」を育み、夢を持ち「生きる力」を育んでいくことを基本理念としています。

そのような力を身に付けていくためには、社会生活の中でICTを日常的に活用することが当たり前となる中であって、学校での学びにとどまらず、児童生徒が主体的に学び取るための道具としてICTを適切に使いこなすことが必要であり、そのための資質・能力としての情報活用能力の育成が求められます。また、児童生徒が、情報活用能力を発揮し、自ら学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成し、多様な学びで豊かな創造性を育んでいく必要があります。

さらに、学校に求められる役割は年々増加し、教員の時間外勤務時間は高い水準が続いている中で、教員が自らのワーク・ライフ・バランスを確保しつつ、より児童生徒に向き合える環境をつくることは、本市が求める人材の確保や、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に繋がります。

2 GIGA第1期の総括

本市は、令和2年度に児童生徒1人1台端末等新たな時代に対応する教育ICT環境を実現し、指導者用デジタル教科書の継続利用、大型モニターの全クラス整備等教育ICT環境の充実を図ってきました。令和4年1月にはAIDRIL教材、令和5年1月からは授業支援ツールの活用を開始する等、多種多様なデジタルコンテンツを活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進してきました。

また、予期せぬ新型コロナウイルス感染症の影響により、学びの保障として、ウェブ会議システムを活用したオンライン授業が開始され、現在においても状況に応じてオンライン授業を実施する等、時間や場所に制約されることなく、学びを継続する環境を整え、公教育を受けられる機会を確保しています。

より「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、これからの社会を生きるために必要な情報活用能力を子どもたちに身につけさせるとともに、整備されたICT環境を効果的に活用するなど、加速度的に教育の情報化を推進する必要があります。

あることから令和6年3月に3カ年計画である「常総市教育情報化推進計画」を改定し、教育情報化の実現に向けた方策を進めてきました。

◆教育情報化の実現に向けた方策

(1) 児童生徒の情報活用能力の育成 ・授業におけるGIGAスクール端末の活用 ・プログラミング的思考の教育の推進 ・AIドリル教材の活用 ・授業及び学習支援ツールの活用	(2) 教職員のICT活用指導力の向上 ・児童生徒にICT活用能力を身に付けさせるための学年に応じた標準スキル等の検討 ・ソフトウェアやシステムの研修の実施 ・ICT支援員及び市教育委員会職員による支援
(3) ICTを活用するための環境整備 ・ネットワークアクセスの実施 ・大型掲示装置の設置 ・GIGAスクール端末の計画的な更新 ・校務用パソコンの計画的な更新 ・校務クラウド運用による業務改善 ・セキュリティ対策の定期的な見直し	(4) 校務情報化の推進とICT活用の推進体制構築 ・統合型校務支援システムの継続導入と更新 ・ICT支援員の継続派遣 ・学校ICT推進委員会の活用 ・教職員の働き方改革のためのICT活用事例の研究

これらの取組の主な成果として、各小中学校における児童生徒の端末活用率が大幅に向上し、全国学力・学習状況調査結果として、令和3年度中の調査で市立小学校の児童約50.1%が「週1回以上ICT機器を使用している」に対して令和6年度中の調査では、86.1%、市立中学校の生徒では、生徒約29.2%から約95.6%と回答しています。なお、ほぼ「週3回以上」と回答している児童生徒は、市立小学校約59.2%、中学校約83.7%であり日常的に使用されています。

その他、授業中にICT機器を用いてインターネット検索、意見交換や発表等あらゆる場面で利用されています。

一方でAIドリル教材及び授業支援ツールについては、日常利用が浸透してきましたが、利用する場面や頻度においては改善する余地があり、教職員のICT活用指導力をより向上しあらゆる場面で活用します。

3 1人1台端末の利活用方策

令和7年度に予定している1人1台端末の更新やネットワーク環境の改善をはじめとするICT環境の整備を行い、常総市教育情報化推進計画に沿った以下の方策で利活用を推進します。

教職員のICT活用指導力の育成を図り、1人1台端末の活用頻度を高め、AIドリル教材及び授業支援ツールをより積極的に活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実します。

また、継続してウェブ会議システムを活用したオンライン授業を柔軟に実施するなど、時間や場所に制約されることなく、学びを継続する環境を提供します。その中で今後は、ネットワークの改善を行い、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、「不登校児童生徒の授業への支援」、「希望する児童生徒への教育相談の実施」、「外国人児童生徒に対する学習活動支援」、「障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じた支援」等をより一層可能とし、誰ひとり取り残されない学びの保障を実現します。

その他、「ゼロトラストセキュリティ」の考え方に準じたセキュリティ対策を講じた上での校務系・学習系ネットワークの統合についても検討し、教育データの利活用を行い、個別最適な指導の実現や校務における業務改善を図りつつ、児童生徒に対して積極的な支援を行います。